



季節を知ったら
暮らしが楽しくなった

（第二九二号）

立春

二月四日

楠部の萬歳楽

「マーンザラク」の声がなんとも目出度い、伊勢市楠部町の萬歳楽。今年
は一月二十日に行われました。

櫛樟尾神社で行われる萬歳楽は五穀豊穡を祈り奉納されるもの。江戸時代
から始まり、一時は廃れましたが、平成十三年に楠部町萬歳楽保存会により
再興されました。

舞人は青い素襖姿の大人三人、赤い素襖姿の三人の子ども、いずれも赤烏
帽子をかぶっています。まず「腹ごしらえ」と呼ばれる小豆ご飯を食べ
るのが習わしで、それから一人ずつ的の鬼をめぐって矢を射る「鬼打ち儀式」
を行い、舞台に移動します。

舞台にはすでに、鏡餅が納められた木桶が三つ置かれています。中央のユ
リは、鏡餅の周りを赤い実をつけた千両万両、南天で飾られています。舞人
は大人一人と子ども一人で「早稲」「中稲」「晚稲」の三組に分かれ、一組
ずつ順番に、ユリを担いで、祝い言葉を唱えながら舞台を回ります。

「当年の早稲は、萬歳楽」の舞人の発声に「マーンザラク」と皆の合いの
手が入り、舞台は豊作を寿ぐ楽し気な雰囲気。次に、同じように稗、粟、
麦、大豆と祝い言葉が続きました。稲作の盛んな地であっても、畑作の稗や
粟、麦、大豆といった穀物の豊穡もきちんと言葉に表して祈っていたのです。

この祝い言葉は再興の時に伝統に基づき作られました。今では稗や粟を作
る農家はほとんどありませんが、祝い言葉を残しているのに意義を感じまし
た。祝い言葉を唱和して、心もほっこり。暦は早くも春を迎えます。

文 千種清美



おかげの里便り

おかげ横丁

○ ひなまつり

平安時代から受け継がれてきたひなまつり。

桃の花や可愛い飾りで彩られ、いつもより華やかになり心浮き立つおかげ横丁で桃の節句をみんなで祝い、女の子の健やかな成長を祈る華やかな催しを楽しんでください。

と き／2月16日(土)～3月3日(日)

10:00～17:00 (催しによって異なります)

ところ／おかげ横丁一帯

● お雛さまに大変身

お雛様やお内裏様の衣装で記念撮影ができる。毎年大人気の催しです。

と き／2月16日(土)～3月3日(日)

10:00～17:00 (16:30受付終了)

ところ／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

料 金／1,000円 (特製台紙付き写真プレゼント)

● 桃の節句市

雛あられやひし餅などのひな菓子を揃えた市です。香で邪気を祓うとされているよもぎ餅なども並び、早春の香りに包まれます。

と き／2月16日(土)～3月3日(日) 10:00～17:00

ところ／赤福別店舗

● 旧家に伝わるお雛様とつるし雛飾り

旧家に代々伝わる雛人形の展示と、手作りのつるし雛を飾ります。

と き／2月16日(土)～3月3日(日) 10:00～17:00

ところ／伊勢路名産味の館2階「大黒ホール」

五十鈴塾

○ 「漢方」の不思議な世界

2000年以上と言われる漢方の歴史。先人が遺した漢方処方や養生法が、今も私たちの心や体の不調を治してくれています。

現代医学は、解剖学や生理学から体を捉えて、病巣を排除する方向ですが、漢方医学は、全身を繋がりのある有機体として捉えて、いろいろな視点から病気の原因を探り、体のバランスを平常に戻すことで治療に活かします。治療に使われる漢方薬は、植物・きのこ類・動物性のもの・鉱物など多彩な「生薬」で構成されています。それぞれの生薬の力、柔軟な働き方をする漢方処方、「気血水」のシンプルで明快な考え方、臓腑経絡の深い意味などの不思議をお話いただきます。

と き／2月6日(水) 13:30～15:00

講 師／栗田 淳子 (漢方薬局ユクル 薬剤師)

参加費／一般1,300円 会員800円

ところ／五十鈴塾右王舎

※お問い合わせ・お申込み 0596-20-8251

五十鈴茶屋

○ 節気菓子

はる おとず
春の訪れ

ういろう

外郎の生地で、こし餡を柔らかく包みました。春の霞に浮かぶ、ほの紅い、梅の花を思わせるかのようです。

しら たまつばき
白玉椿

山芋を使った生地で、こし餡を包み、この時季の風情を讃えた、早咲きの白玉椿に見立てました。

そうしゅん
早春

こし餡のそばろと、粒餡の羊羹の間に、若草色の白餡そばろを重ね、土の中から草の芽が顔を出す様子を表しました。